

農場通信 2025年 10月号

2025/10/1

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2025/7/28 ④ 2025/12月末

品目	圃場写真①	圃場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		

大玉トマト 年内作		
7月4日に播種、28日に定植を行いました。大玉トマトの品種比較栽培やホルモン処理試験等を行っているハウスです。 9月第3週目から1段目の収穫を開始いたしました。現在6~7段目が開花しています。急激な気温低下に注意し管理していきます。		

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2026/6月末

ミニトマト		
7月4日に播種、7/28定植。 今作も20品種の比較試験を行います。 昨年度に引き続き、高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマでの栽培となります。 給液EC2.3、給液量2000ml/株で管理。 早い品種では3段目を収穫中です。 現在8段目が開花しています。 週1回消毒を行いコナジラミ等の対策を徹底しています。 茎が細くなっている品種があるため、草勢を落とさないように摘花や芽かき等、様子を確認しながら管理していきます。		

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月

大玉トマト 抑制長期作 (年1作)		
7月28日播種、8月19日定植。 今年度も20品種の栽培を行っています。 「耐裂果性」・「短節間」・「バランス型」・「玉肥大」の4テーマで栽培中。 給液EC2.0、株あたり1100mlで管理。 現在2~3段目が管理中。タバコカスミカメの放飼と気門封鎖剤中心の防除により、コナジラミは少ない状態で管理できています。		

① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2026/4月末

バラエティ トマト		
7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。 どの品種も概ね3段目のホルモン処理が完了いたしました。果実も肥大期に入ったため、草勢が落ち込まないように管理していきます。病虫害の発生は現状ありません。気温も低くなり害虫が活発になると予想されますので、薬剤散布と天敵資材を用いて、防除を行います。		

① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ ④

イチゴ		
次作準備中 9月末ごろ定植予定です。		

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験
品種比較試験 ③ 2025/4/21 ④ 2025/9月末

キュウリ		
今作はココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験ということで、穂木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。年2作型とし、1作目は10月定植、4月15日で終了。2作目を4月21日に定植し、9月末まで栽培しました。 1作目・2作目を合計した年間収量は1反換算値で約60トンの収量となりましたが、2作目が高温期の作型のため、着果不良や不可販果の増加など、課題も多し作型でした。 品種差も大きく、高温期でも比較的着果の安定したものもあれば、まったく収量の出ない品種もあり、時期に応じた品種選抜が重要と思われます。次作は10/15頃に品種のラインナップを変えて定植予定です。		

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/15 ④ 2026/7月頃

高糖度 ミニトマト		
穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。 定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。 現在、4~5段開花 早い品種は1段目が収穫始まり。草勢は全体的に強く、草勢を抑えるために夜間の換気を控えて高めの温度管理にしています。 給液ECは2.0程度からスタートし、年内に5.0くらいまで上げてストレスをかけていきます。		



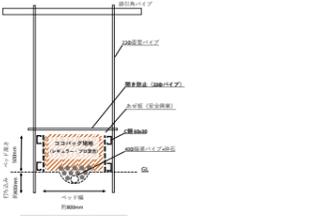
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2025/8月~ ④ 2026/春

キャベツ		
<p>冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/28播種 11月収穫 ③8/8播種 12-1月収穫 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫</p> <p>春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫</p>		<p>年内収穫の作型は、最も暑い時期に定植を行いました。昨年のように大雨で痛むことがなかったため比較的順調に生育しています。年明け以降の作型は9月中旬から気温が一気に下がったため順調に活着しています。今後しばらくは害虫の防除と、黒腐れ病・黒すす病の予防のための消毒を徹底していきます。</p>

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2定植④ 周年

アスパラガス		
		<p>アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。暑かった夏をなんとか乗り切り、9月末現在でも収穫は順調に続いていて、特にサカタの試作品種は安定して収量が出ています。10末頃まで収穫が続くと見込んでいます。</p>

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2025/8/22 ④ 2026/7月末

大玉トマト		
		<p>7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。1段目が開花し始め、ホルモン処理を実施しています。強勢台木ということもあり、現状の草勢は非常に強いです。温度も低下し始めましたので、植物状態をみて、換気、灌水設定を管理していきます。今後、コナジラミの発生が予想されますので、LEDライトを使用した害虫防除を行っていく予定です。</p>

① 第2 ② ブロッコリー ③ 2025/08~ ④ 2026/春

ブロッコリー		
<p>1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月下旬定植予定 6作目 9月10日播種 10月上旬定植予定 7作目 9月19日播種 10月中旬定植予定</p>		<p>9月24日時点で4作目まで定植済み。1作目の1回目の追肥が完了しています。チョウ目害虫を中心に、防除を実施しています。</p>

① 施設栽培 ② バコトツプ放飼防除試験

バコトツプ		
<p>今作も、昨年度に引き続き、タバコカスミカメ(商品名:バコトツプ)の放飼を行っております。</p> <p>トマトハウスでは、一部で食害が発生しましたが、トマトが成長し株が大きくなるにつれ、食害も落ち着き、コナジラミ数は少ない状態になっています。</p> <p>キュウリハウスでは、アザミウマ類の発生はないものの、コナジラミが増えるようになり、9月で作も終了することから、コナジラミ数減少を第一の目的にバコトツプへの考慮を行わない、殺虫剤の散布を行いました。キュウリハウスでは、次作もバコトツプの放飼を行う予定です。</p>		

① 第1 Q ② コマツナ有機質肥料試験 ③ 9/2播種 ④ 10月収穫

コマツナ		
		<p>9月2日に播種を行いました。今作も有機配合肥料と化成肥料の比較試験、品種比較試験を行っています。現在は2回目の間引きが終わり、適宜除草、薬剤散布を行っています。灌水は3日に1回、スミスンスイの露地ワイドを使用しています。こまめに薬剤散布を行い、病虫害対策を行っていきます。</p>



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp